

～第14回岩手県国有林関係市町村長連絡協議会を開催しました～

盛岡森林管理署では、岩手県内33市町村長有志による国有林関係市町村長連絡協議会を年一回開催しています。この協議会は、「岩手県内における地域社会と国有林野事業の連携強化を図り、地域の社会経済の発展と国有林野事業の円滑な遂行に資する」ことを目的としており、今年度は、平成29年10月6日（金）に開催し、岩手県内の市町村長（代理出席を含む）21名に出席いただきました。

協議会の前段には、当署管内の雫石町網張国有林内で実行している治山事業と素材生産事業箇所の現地視察を行いました。

治山事業箇所では、岩手山の火山防災対策として土石流を防止するための地域防災対策総合治山に係る説明と溪間工の施工状況、また、素材生産事業箇所では、列状間伐のメリット等の説明と高性能林業機械を活用した伐採や集材の実演が行われました。



治山事業概要の説明



ドローンによる施工管理



素材生産事業概要の説明



ハーベスタによる伐倒作業

現地視察後、場所を休暇村岩手網張温泉へ移し、昼食後代表世話人である一戸町の稲葉町長を座長として意見交換を行いました。



代表世話人 一戸町 稲葉町長挨拶



代表署 盛岡森林管理署 長江署長挨拶

国有林に対する要望として、①木材の安定供給、②市町村森林整備計画作成にあたっての支援要請、③松くい虫被害対策の強化や被害材の有効活用、④森林共同施業団地の設定など民国連携の取組、⑤低コスト技術開発の推進、⑥継続的な事業発注、⑦分収林の有利販売、⑧国有林の活用（景観を維持する修景伐採）に係る要望等について意見が出されました。



意見交換の様子

いただいたご要望等については、東北森林管理局や関係森林管理署等と連携し「地域に貢献する」国有林として、期待に応えられるよう取り組んでまいります。